

科目名：基礎看護学実習Ⅱ (Fundamentals of Nursing Ⅱ) 履修年次/時期：1 年次 後期 授業形態：実習 担当教員：棚橋泰之 飯塚雅子 北村容子 横正奈緒美（全員実務経験有）		必	2 単位
学修目的	健康に障害のある対象を受け持ち、対象の発達段階・発達課題、健康レベル、診断治療に応じた看護過程の展開を通して、対象に必要な看護を理解する。 DP1 (1) (2) ,2 (1) (2) (3) ,3 (1) (2) (3) および CP1,2,3,4,5,6 に関連する。 科目 No.KNp-138		
到達目標	1. 看護の対象を全人的に把握し、必要な看護計画が立案できる。 2. 患者の個性をふまえた援助計画を立案し、日常生活援助が実施できる。 3. 看護専門職を目指すものとして自覚を持ち、責任と役割をもった行動をとることができる。		
授業概要	健康に障害のある対象を受け持ち、看護過程の展開を通して対象の背景、生活歴、健康観、人生観などを踏まえて対象に必要な看護を提供することを学ぶ。		
授業計画	(実習施設) 国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院 社会福祉法人日本医療伝道会 総合病院衣笠病院 公益社団法人地域医療振興協会 横須賀市立うわまち病院 公益社団法人地域医療振興協会 横須賀市立市民病院 社会福祉法人聖テレジア会 聖ヨゼフ病院 独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立循環器呼吸器病センター 三浦市立病院 (実習方法) 学生は 1 名の患者を受け持ち、患者とのコミュニケーション、生活援助技術の提供、看護師が行う診療補助技術の見学等を行う。患者への技術の実施は、実習指導者または担当教員と共に行う。 (実習期間) 基礎看護学実習Ⅱ要項を参照		
評価方法	臨地実習 100% 臨地実習に対するフィードバックは評価表に基づく採点、面接で行う。 受験停止の場合、補習実習は原則として行わない。		
教科書	看護学概論、看護技術概論、生活援助技術Ⅰ・Ⅱ、診療補助技術Ⅰ、健康診査で用いた教科書		
参考書	当該実習施設に関連のある疾患の病態、治療、看護に関する参考書を各自準備しておく。		
お問い合わせ先	棚橋泰之 3 号館 3 階研究室 tanahashi@kdu.ac.jp 不在時はメールでお願いします 飯塚雅子 3 号館 3 階研究室 iizuka.masako@kdu.ac.jp 同上 北村容子 3 号館 3 階共同研究室 y.kitamura@kdu.ac.jp 同上 横正奈緒美 3 号館 3 階共同研究室 yokosho@kdu.ac.jp 同上		